東京・日本橋今京都・三条大橋

創刊15周年記念連載

# 大池橋

当時は長さ約52m、幅約5.7mの土 橋だったという「大池橋」。正面には 青銅製の鳥居と、両側に参詣者用 の常夜燈があり、「火防の神」が鎮 座する秋葉山へ通じる約35㎞に及 ぶ街道の入口であることを示した。





# 七曲り

道がいくつも折れ曲がる構造は、容易に敵を侵入 させないための戦略だといわれており、昔は終点に 城下に入ってくる人物や物を取り締まるための木 戸と番所があった。現在は住宅地になっているが、 七曲りの特殊な構造はそのまま生かされている。

約200年前の創業時は、平たく振袖の形に似ていたためこの名が つけられたという素朴な餅菓子。きな粉と片栗粉の2種類があり、甘

さ控えめの粒あんを職人がやわら かな餅で一つずつ丁寧に包んで 仕上げる。1個120円。 菓子処 もちや

静岡県掛川市葛川228-1 **2**0537-22-4833 営9時~18時30分 振袖餅 6個入720円 休水曜、第三木曜



# 掛川城大手門

「東海の名城」との呼 び声が高かった天守 閣は平成6 (1994) 年に日本初の本格木 造天守閣として復元 され、その翌年に大 手門が復元された。



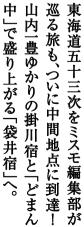
た

#### 掛川本陣通り

町

本陣跡は、どこか懐かしい雰囲気 を漂わせる飲食店の屋台村へと 変貌を遂げ、地元住民たちの憩 いの場となっている。

> 東海道も 折り返し





掛 川 内 城の城一 一豊が整備 下

ための常夜燈が建てられていた。 にぎわい、街道筋には参詣者の られる。当時は多くの参詣者で あり、橋の上には巡礼の姿も見葉大権現が鎮座する秋葉山が 守が復元され、多くの観光客を 橋の風景。遠景に「火防の神」秋 宿の西側、倉真川に架かる大池 集めている。広重が描いたのは、 には、昔のままの木造建築で天 備された掛川城の城下町。城跡 辻』で有名な山内一豊によって整 司馬遼太郎の歴史小説『功名が

### 天橋付近

天橋は、袋井宿の東側の入口にかかっていた土橋。 現在は「ここから袋井宿」と記された石碑が立っている。





### たまごふわふわ

たまごとだし汁で作る江戸時代の名物料理。当時は卵 が高級品だったため、武士や豪商など裕福な家庭でし か食べられない高級料理とされていた。現在は、いくつ かの店舗で提供されており、その名のとおりふわっとし た口あたりとやさしい味わいで多くの人に愛されている。



# 東本陣公園

袋井宿に置かれた3軒の 本陣の一つで、「壱番御 本陣」とも呼ばれていた。 現在は袋井宿東本陣公園 に冠木門を再現し、庭園 や石の配列で東本陣の間 取りを表現している。

盛り上げている。







む飛脚の姿などが描かれている。場外の出茶屋で腰を下ろして休 わい、 東の掛 宿。東 距 宿場町だった当時の建物や料 旅五 所で案 『東海道五十三次』では、 三次 40 (内板が整備されたり、 脚の 0 憩





#### 東海道どまん中茶屋

天橋近くに、「東海道五十三次 袋井出屋茶ノ図」をモチーフに建 てられた茶屋。店内には囲炉裏を囲める席もあり、居心地のいい 雰囲気の中、地元ボランティアの方々が湯茶でもてなしてくれたり、 土地にまつわるさまざまな話を聞かせてくれることも。

静岡県袋井市袋井339 ☎0538-44-8595 営 9時~16時 (休月曜(祝日の場合は翌日)



# 松並木

掛川〜袋井の街道には空に向かって高く 伸びる立派な松並木が多く、その趣ある風 景に弥次さん、喜多さんの気分が味わえる。





#### 葛布

参勤交代の土産 としても重宝がら れたという、伝統 産業の「葛布」。 当時は裃や馬乗 袴、また水に強い ため合羽の素材と して使われたそう で、長く使うほど色 や風合いが味わい 深く変化する。

# 手織元 小崎葛布工芸

静岡県掛川市城下3-4

http://ozaki-kuzufu.jp/

